

形をなす。唯其の遊戯は兒童の勝手氣儘に任せ外より何等の制裁を加へず、監督を興へざれば其遊戯は惡戯となり、寺院の神聖を汚がし裝飾を損し風致を害するは勿論、兒童の教育上害ありて益なしとす。故に若し此等の幼兒を寺院の一室に集め、規律正しく且つ訓育上に益ある遊戯をなさしめ、修身上に關係ある唱歌を教へ、適當の制裁を加へ監督を興ふるに至らば、寺院と幼兒との兩方に利ありて、而かも町村の爲めに益する事尠からず。而して之れに要する所の經費は極めて少額にて足れりとす。其遊戯場は寺院の一室若くは堂宅及庭園を用ふるものなれば、別に建築する必要なし。又其保母の如きは住職が妻帯するものとすれば、其妻に多少の練習をなさしむるを以て足れりとす保母の練習は他の練習に比すれば短日月の間にな

し得べく、其他は實地の經驗を積むを要するのみなり。されば慈善的に實施する事頗る容易なりとす。又一方には神社の庭園を以て幼稚園に充つるも可なり又は小學教員の妻をして保母を兼ねしむるも可なり、小學教員は薄給のもの多ければ其方にて妻子を養ふをかたし、若し其家をして幼稚園に充て其妻をして保母を兼ねしむれば多少家政の一助ともなるべし、此等の方法によるときは全國に幼稚園を普及するを決して難事にあらざるなり
(日本の小學教師)

雜報

幼稚園かき
保育法夏期講習會

來る七月廿一日より十日間、當フレーベル會に於て開かるべき同會は、實に東京に於ける幼稚園夏

期講習會の嚆矢なりといふべし。年々中小學校教員のために、此種の講習會ありて、教員の學力を補修し、教授法の改良に資することとなり居れども、比較的發達の遅緩なる幼稚園に從事する保姆の爲としては、從來嘗て此種の講習會ありたることなし。これまことに遺憾の次第にして、幼稚園が其名の如く發達幼稚なりなどいはるゝは、一は此種の會合に由りて新しき思想を得べき便宜なき爲にも因るなり。學科及講師は別紙廣告の如く或は學理の上より或は實驗の上より斬新有益の講演をせらるゝにて殊に本會々員は聽講料五十錢なりとのことにて、會費の廉なることも亦他に見るを得ず、現在幼稚園に從事せらるゝ方は勿論、苟くも兒童保育に注意せらるゝ方は奮つて、出席せられたきものなり。

京 北 幼 稚 園

文學博士井上圓了氏は、日露戰役紀念事業として、今回、小石川區富士前町に、幼稚園を設立し、去る五月三日開園式を舉行したり。地所は廣濶なる高臺にして園舎も清潔完美なりとのこと。主任保姆としては本會々員、林富美子之に當り、同じく會員富高たま子之に副として日々熱心に從事せられ居るといふ。博士の如き知名の教育家が、今日、幼稚園問題に着手するに至りたるは、まことに斯道の爲に喜ぶべきことにして、吾等は、この幼稚園の未長く健全の發達をせられんことを望むものなり。尙、機を得て參觀し詳細を報ずることあるべし。

足 立 孝 子 の 名 譽

本會々員、元東京府立女子師範學校幼稚園保姆

足達孝子は、夙に幼兒保育の事業に熱心なる興味を有し、同幼稚園にて日々従事せられしが、今回皇孫殿下の御係として召し出され、先月十八日東宮御所に奉仕せられたりといふ。同氏の名譽、此上なきことといふべし

會報

入會

東京市本郷區駒込富士前町五一、京北幼稚園

右林富子紹介
山内定治郎

女子高等師範學校

右東基吉紹介

會費領收

自明治三十八年四月廿五日
至全 年五月廿五日

金額	年	月	日	姓	名
六〇	三	七	一	野	尻てつ
六〇	三	七	一	小	谷野千代
五〇	三	八	四	西	浦りつ
四〇	三	八	一	鈴	木れい
五〇	三	七	一	小	關せい
二〇〇	三	六	一	野	崎秀
一〇〇	三	八	二	馬	場虎
三〇	三	八	五	室	田美津

一四〇	三八、四	三八、七
一〇〇	三八、一	三七、二
五〇	三八、四	
五〇	三八、四	三八、八
四〇	三八、四	三八、八
六〇	三八、一	三八、二
六〇	三八、一	三八、六
一〇〇	三八、二	三八、六
一〇〇	三八、三	三八、六
四〇〇	三五、二	三八、五
一〇〇	三八、三	三八、一
二〇〇	三七、二	三八、九
一〇〇	三七、九	三八、六
二〇〇	三八、三	三八、四
二〇〇	三八、五	三八、四
一〇〇	三八、一	三八、五
五〇	三八、一	三八、五
六〇	三八、五	三八、一〇
六〇	三八、五	三八、一〇
六〇	三八、五	三八、一〇
一〇〇	三八、五	三八、一〇
二〇〇	三八、五	三八、一〇
二〇〇	三八、五	三八、一〇

熊谷つまた 熊崎如幻 千崎ゆん 原しん 山崎芳代 酒井芳嶋 福間さつ 安藤茂枝 木村茂枝 岡松磯次郎 東も 原も 岡宮さだ 奥宮さだ 岡田起作 藤澤益月 小澤吉益 大川多技 乙訓助 福岡吳子 岩本金太郎 岩本藤吉 岩本芳子 鹽野吉兵衛 土屋たまこ